

## 基本的な考え方

本ガイドラインは、貴重な観光資源であり地域コミュニティの基盤でもある祭りや観光イベントを、感染防止対策に十分配慮して安全・安心に開催できるように、感染症と催事の専門家の監修のもと、専門的知見や先進事例を踏まえ、モデルケースでの検証を経て、祭り等を主催する県内6団体と共同で「主催者が実施すべき事項」や「参加者が守るべき事項」等を取りまとめたものであり、市町村や祭り等の主催者と共有していくものです。

また、祭り等の運営者が感染防止対策の取組内容を積極的に情報発信し、参加者や観覧者、地域の方々にとっての安心感や信頼感の醸成を図ることで、祭り等の「リ・ブランディング」が進むことを目指しています。

## 感染防止対策のポイント

本ガイドラインでは、祭り等の開催形態を3形態に類型化し、会場内での人の流れや各シーンにも着目し、感染防止対策を取りまとめています。

共通する感染防止対策	<b>「運営」</b> ・感染防止対策の担当者1名を選定等 <b>「健康管理」</b> ・祭り等の関係者に対する開催前からの健康管理等 <b>「周知」</b> ・対策の事前周知と会場内外での協力の呼びかけ等 <b>「飲食」</b> ・飲食場所の指定とルール徹底 ・唾液飛沫が付着したゴミ管理のために十分なゴミ箱の設置等 <b>「飲酒」</b> ・飲酒する場所・時間・量に一定の制限・ルールを設定等
参加観覧型	・公共交通機関の運行者と連携した感染防止対策 ・通行者と観覧者等が交差しないよう放送等による周知等
地域コミュニティ型	・開催場所が限定されているため、社会的距離を徹底管理 ・駐車場や飲食店などの会場近隣とコミュニケーション等
入場観覧型	・事前の混雑状況の情報提供と状況に応じた入場人数の管理 ・一方通行の観覧ルートを示し観覧者の交差を予防等

## 作成コンセプト

### Evidence 科学的な根拠に基づいた感染防止対策

各種事例をはじめ、これまでの知見の積み上げのもと、科学的な根拠に基づいた実行可能な感染防止対策の確立

### Community 青森という地域性を生かした感染防止対策

県内各地域の医療・保健資源の状況、地域特性や伝統・文化を踏まえた、青森型の感染防止対策の確立

### Communication 生活や安心にも配慮した自発的な感染防止対策

地域住民や参加者の自発的な感染防止対策を促し、地域の生活、安全・安心なコミュニケーションの確立・形成も踏まえた、感染防止対策の確立

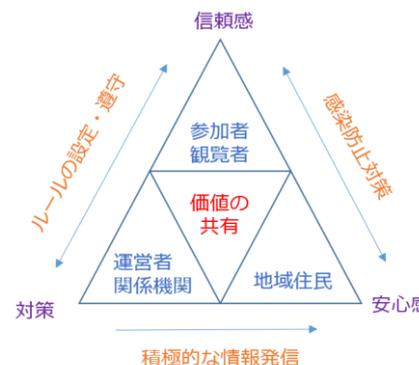
## 感染防止対策レベル

本ガイドラインでは、開催にあたり、重要度に応じた次の3つの感染防止対策の取組レベルを設定しています。

- 「遵守」** 必ず実行すべき事項
- 「努力」** 可能な範囲で最大限に実行すべき事項
- 「任意」** 必要に応じて実行すべき事項

## 祭り等の「リ・ブランディング」

## 活用にあたっての留意事項



本ガイドラインは、主催者において、祭り等の規模や内容に応じた具体的な開催手法を検討するための基本的事項です。

開催に当たっては、地元市町村や交通事業者等との連携が必要です。

今後、国や県の方針や取扱いの変更等がある場合は、必要に応じて適宜内容の見直しを行っていきます。